

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局（那須）	<p>【43 除排雪】2週目</p> <p>本日、中川部会長及び山岸副部会長が所用のため欠席とのことなので、事務局の方で進めるのでよろしくをお願いします。</p>
川原主幹	<p>※別紙検討シートに基づき②の基本的考え方、③の修正部分及び⑤の新しい計画の内容について説明</p>
事務局（那須）	<p>⑤の新しい計画のところで、前期計画と比べて新たな項目として追加しているものとしては、道路歩道への雪出し対策だとか、緊急対応による除雪体制の確立と連携、除雪の協力と啓蒙活動、雪捨て場の環境整備といったようなものがあるが。</p>
渡辺委員	<p>歩道への雪出し対策で、私の地区では雪を捨てる場所はあるが、町中では捨てる場所がなくて困っている。国道などは国道管理者がいるがどのように対応しているか。検討ではなくてこういうように進めますというように目に見える対応が必要ではないか。また、地域には助け合いチームなどがあるが、それとは別に間口除雪などは町で行っているが、どのような基準で行っているか不明なので、はっきりさせた方がいいと思うが。</p>
矢萩部長	<p>国道、道道は、133ページの基本的な考え方にあるが、それぞれ国道の委託業者が行っている。排雪等の場合には町道も一体的にやる必要があるため連携を取っており、今後も続けていきたいと思っている。</p> <p>また、歩道への雪出し対策についてだが、車道除雪後に歩道を除雪するが、除雪直後は車道、歩道も幅広いが、その後住民の皆さんが雪を出したりして歩道もつぶれていく。その対策についてだが、原則自分のところの雪は自分で対応してもらいたい。捨てる場所がないなら、どこかに頼むなどしてもらいたい。</p> <p>こまめな排雪もしたいが費用的になかなか満足いけないのが実態である。自らの雪は自分の敷地で処理したり、費用負担をいただいて処理していただくなども除雪活動の促進で協力いただく要素である。</p> <p>間口の置き雪対策としては、福祉の制度として136Pにもあるが除雪困難な独居高齢者、障がい者及び町内に子供がいない等の世帯を対象に町のロータリーで間口の除雪を行っている。その他としては、自治会や助け合いチームに手押し除雪機を貸与して対応していただいている。対象となる条件が違い、混在している状況だが、若干助け合いチームの方が要件が緩いかと思う。</p>
渡辺委員	<p>助け合いチームは年間1件当たり2千円で賄っているとのことだが、2千円ではどうかと思うし、その一方では町が対応しているとのことなので全然違う。やるなら同じ対応にした方がいいと思う。口には出さないが不満が出てくるので検討してもらいたい。</p>
矢萩部長	<p>社会福祉協議会で対応しているが、自治会や助け合いチームと連携しながら公平に情報がいくような形は今後も取っていきたい。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
渡辺委員	国道の街なかの歩道だが、空き店舗の前の歩道が除雪されていない。歩行者は車道を歩いている。対策を検討してもらいたい。
矢萩部長	歩道は全線開けるという認識。歩行者の安全確保が第一。継続してこういう問題があると声を出していきたい。
渡辺委員	通学路は確保されているのか。
矢萩部長	優先度高く行っているが天候によって作業が遅れてしまっている実態がある。改善していかなければならない。
川原主幹	一番困るのが、車道の後に時間を空けて歩道を除雪する。歩道に高く盛られていて歩道機械が太刀打ちできなくて空けられない時がある。
渡辺委員	国道沿いの通学路では、歩道が完全に除雪されていないと子供達は綺麗に除雪されている国道を歩いている。そして歩道が除雪されると工場や商店がそこに雪を出して歩道をふさいでしまう。取り締まりや注意する方法は無いのか。結局、子供達は国道を歩いている。事故が起こる前に安全対策を徹底するべきではないか。
矢萩部長	町道でも同じ事があり、広報でのPRや実際の現場をパトロール車で注意、通報・苦情も多いので必ず現場へ行って注意をしている。弱者が一番怖い思いをしている。
渡辺委員	美禽橋は風も強く雪も舞い、歩道もブラックアイスバーンになる。国道だが善処してほしい。
矢萩部長	国道に関する問い合わせの場合は開発局や道へ連絡して状況を伝えるなど対応している。
渡辺委員	場所によっては吹き溜まりなどで立ち往生している。連絡すると0時からじゃないと出勤しないと対応された。状況を見ながら出勤する事はないのか。
矢萩部長	基本は0時。車も人も納まっているという意味合い。0時の時の気象状況によって出られなかったり、時間を遅らせたりしている。
渡辺委員	臨機応変にしてほしい。
矢萩部長	出勤時は、吹雪いたり悪条件の時に出るので危険を回避しつつ開通を早くにという事で0時を基本としている。PRをしながら改善をしていく。
高田委員	美幌は北見に比べるといい方だと思う。お年寄りや体の不自由な人への支援は必要。それ以外の人は雪国に住んでいるから当たり前と思ってほしい。
宮田委員	冬に道路の幅が狭いなどはやむを得ない。歩行者や車両の通行の安全が一番なので交差点の排雪の頻度をあげてほしい。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局（那須）	交差点の排雪については以前の部会の中でも中川部会長から、もう少し早期に実施した方がいい旨の意見があったが。
矢萩部長	住民の皆さんの生活に支障をきたさないようにしている。交差点の除排雪は早期に対応出来るようにしたい。
渡辺委員	町道と国道の交差点の排雪は町と国どちらがするのか。国道に出ようとすると道路が見えない。せめて車の目線で見える高さに調整してほしい。
事務局（那須）	道路、歩道への雪出し対策の中で、公園等の冬期活用とは雪を投げてもいいという意味か。
矢萩部長	何カ所かは地元の自治会の話し合いで置くのは認めている。
事務局（那須）	今意見をいただいた、交差点の排雪の関係とかについては再度持ち帰って検討するという事によろしいか。
	【4 2 道路網】 2週目
川原主幹	※別紙検討シートに基づき①項目に関する、現状や課題、②基本的な考え方、⑤の新しい計画の内容について説明
事務局（那須）	前回の意見では大正橋が狭く危ないとあった。これは⑤の町道770号道路の道々昇格に入っているのかなと思う。
渡辺委員	昨年の自治会の要望事項で美禽橋の道々と国道の交差点の改良を要望した。また勝本車両のところの交差点についても要望をあげたが将来的にはどうなのかと思っているが。
矢萩部長	131Pの⑤の国道・道々の整備に危険箇所の改修を盛り込んだ。132Pの交差点改良の検討には危険箇所の洗い出しや、自治会連合会の要望では開発なり道の道路管理者につないでいる。地道に要望活動を続けていく。
渡辺委員	美禽橋の手摺りを付けてほしいと要望している。車道を広げるために手摺りを取った経緯があったとは聞いているが。
矢萩部長	この件も自治会連合会から要望が来ている。開発に伝えている。現状は困っていると訴えていきたい。
渡辺委員	アークスの辺りは整備しないのか。バスがスムーズに入っていない。
矢萩部長	事業費やJRとの交差の部分で様々な問題があり、現状のままできている。
久山委員	しゃきっとプラザの前の道路の整備の予定は。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
矢萩部長	1 3 2 Pの町道整備計画の策定の中で優先順位を付けて順番に整備を と考えている。ひどい状況の道路は把握しているが維持管理をしながら技 本的な改修に向けていく。
川原主幹	交通量が多いなど道路の現状を把握するための点検を道路ストック点 検といい、この点検に基づいて優先順位を付ける。長年、舗装に力を入れ てきたが、老朽化してきているので全体的に点検し改修していく。
高田委員	コープ近くの五叉路の信号がわかりにくい。その先の斜めの交差点はト ラックなどは左側が確認出来ない。ミラーだけでは見づらいので改良が必 要。
事務局（那須）	その他前回、駅前の五叉路も意見があったと思うが、この辺は国道・道 道の交差点改良の要望とで検討がされていくのか。
川原主幹	美幌町は国道と道々が斜めの方向でぶつかったり、都市計画などで交差 が不規則になっていてわかりにくいなどの指摘を受け、①の現状や課題に した。
宮田委員	地域間の道路網は、道路が繋がり凄く便利になったら、人と物の動きが 活発になり人口流出につながるのでは。道路利用者にとっては便利で良い 事だが、地域にとってはどうなのか。
矢萩部長	美幌を素通りではなく、美幌に来てもらう仕掛けが必要。
川原主幹	都市景観など町全体で取り組んでいかないといけない。
高崎局長	中心市街地活性化基本計画との連携とあるが、今後この計画の見直しな どはあるのか。ないのであれば、おかしくなってくるが。
事務局（那須）	総合計画が最上位計画であり、他の計画がむしろ総合計画に沿った内容 となるものであるため、⑤の中の「美幌町中心市街地活性化基本計画との 連携」は削除でよろしいかと思う。
	【45 排水処理】2週目
川原主幹	※別紙検討シートに基づき①現状や課題、②の基本的考え方、⑤の新しい 計画の内容について説明
事務局（那須）	⑤新しい計画の内容の一番下の合併処理浄化槽の適切な維持管理は削 除。下から2番目は個別排水処理施設の適切な維持管理に訂正。 前回の意見の中では、未稼働施設の利活用について余裕がありすぎると して計画の見直しの項目が入ってきた。下水道料金をなるべく下げてはど うかの意見に対しては、下水道経営の健全化に盛り込まれた。パチンコ店 や日の出の大きな水溜まりについては、異常気象に対応する処理の推進に 盛り込まれた。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
渡辺委員	下水道の整備はどれ位の規模でいつから手懸けるのか。
矢萩部長	処理場は始めている。去年から水処理施設の更新を行っている。事業費は4～5億くらいかかる。本格的な長寿命化更新を順番に行うので、かなり長い期間更新が続く。
川原主幹	40年代後半から下水道事業を手懸け、処理場の建設に時間がかかる中、パイプを幹線から始めて処理場を56年の開始に向け進めた。下水道管も全体が終わらないうちに流入させ早いうちでの水洗の利用で普及を図った。電気や機械を1、2度入れ替えてきたが、一度も更新されていないものから点検。全体の事業計画の変更も合わせて進めて新しいものに替えていく。
渡辺委員	管の整備はないのか。
川原主幹	中の管を調べている。地盤の悪い所は随時見ていく。全部調べてはいないが思っていたよりひどくない。管の入れ替えや中のコーティングをするなどで更新していく事も検討されていくのでは。
渡辺委員	昔に比べると管は大分増えたのでは。
菅原主査	汚水管の総延長は約128キロ。雨水管は36キロ、町内の道路の下に入っている。
渡辺委員	地下水など吸ってないのか。管からの漏水は。
菅原主査	今、調査している段階では一部の侵入水等はある。
高田委員	日の出のマンホールが浮く場所は早急になんとかしてほしい。
宮田委員	蛇口をひねると綺麗な水が出て下から流れていく、というのが普通の感覚。管が長くなればなるほど整備にお金が掛かる。結果的に料金に跳ね返ってしまう部分はあると思うが、水道料金は下げられないが上げないというふうに頑張してほしい。
矢萩部長	143Pの上から3行目の改築・更新事業の維持管理コストの軽減や下水道経営の健全化。これらは特別会計で一般会計と分けて経営している。長期的に経営の見通しを明らかにし、まかないきれない分には利用料金に転嫁する事になる。積極的に情報を開示していきたい。
渡辺委員	言葉では簡単に言えるが、128キロを点検するとなると大変。あつて当たり前だと思われてる所を影で支えている職員の方々には敬服する。